

<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/>

問い合わせ 九州大学IQ支援室
TEL : 092-802-2603
E-mail : iq-kenkyu@jimu.kyushu-u.ac.jp

第82回

日時 2月1日(水) 12:10~12:50
タイトル 『研究成果の事業化にむけたOIPの取組みの紹介』
(*キーワード / 産学連携、技術移転、知的財産)
登壇者 大西 晋嗣 副理事 (学術研究・産学官連携本部)
参加申込 下記URLより、お申し込みください。
https://zoom.us/webinar/register/WN_iwruxwRURYeF0UM_v4Hlfw

第83回

日時 2月8日(水) 12:10~12:50
タイトル 『グリーンウォッシュとコンピテンス・グリーンウォッシュが持続可能な金融とESG投資に与える影響』
(*キーワード / ESG、サステナブルファイナンス、グリーンウォッシュ、コンピテンス・グリーンウォッシュ、教育、サステナビリティ)
登壇者 キム シューマツハ 准教授 (アジア・オセアニア研究教育機構)
参加申込 下記URLより、お申し込みください。
https://zoom.us/webinar/register/WN_boIFayuuReWCd8mHRXpE8Q

第84回

日時 2月15日(水) 12:10~12:50
タイトル 『「空飛ぶクルマ」は社会に受け入れられる移動手段になれるのか?』
(*キーワード / 空飛ぶクルマ、社会実装、社会受容性、ウェルビーイング)
登壇者 小島 立 教授 (法学研究院 国際関係法学部門)
参加申込 下記URLより、お申し込みください。
https://zoom.us/webinar/register/WN_wzOYQ2RfQeyE--vr76KkZw

第85回

日時 2月22日(水) 12:10~12:50
タイトル 『「愛してる」vs「大好き」-教科書に出てこない言語の習得-』
(*キーワード / 言語文化、異文化コミュニケーション、暗黙知)
登壇者 李 曉燕 准教授 (共創学部 地球社会統合科学府 社会的多様性共存コース)
参加申込 下記URLより、お申し込みください。
https://zoom.us/webinar/register/WN_OrjdII0IRwy6nbOD09NSTg

・セミナーチラシ : https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30617_file.pdf

2 アグリコラボいとしまワークショップ 「農業経営の財務的特徴と販路拡大について」

概要

海と山に囲まれ、肥沃な土地に恵まれた糸島の農産物は、市のふるさと納税の返礼品の中でも人気となっています。生産者側の農業経営の財務的特徴や、ふるさと納税の仕組みと市場動向を知ること、農産物の販路拡大へのヒントが見つかるかもしれません。ご興味のある方は、どなたでもご参加いただけます。

日時 2023年2月11日(土) 13時~15時20分(開場12時40分)
場所 Zoom(オンライン視聴)
視聴のためのネット環境のない方につきましては、定員80名に限り会場へお越しいただけます。
参加可能な方のみ受付番号や会場等をご案内いたします。
新型コロナウイルス感染症の感染状況により、会場で開催できなくなった

場合は、オンライン視聴による実施のみとします。

内容 第1部「他産業と比較した農業の財務的特徴」
九州大学大学院農学研究院 助教 上西 良廣 氏
第2部「ふるさと納税を活用した販路拡大について」
株式会社スチームシップ 糸島支店長 古場 隆司 氏

対象者 どなたでも参加可能

定員 Zoom（オンライン視聴）100名・会場80名

参加費 無料

申込期限 2023年2月9日（木）

申込方法 下記URLより、お申込み下さい。

<http://agri-collabo.bpes.kyushu-u.ac.jp/?Page=Events>

【アカウント作成】よりメール等ご登録後、お申込みいただけます。

問い合わせ 九州大学農学部等総務課内アグリコラボいとしま事務局 担当 井上
TEL：092-802-4700 e-mail：ito-office@agr.kyushu-u.ac.jp

・ワークショップチラシ：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30618_file.pdf

3 九州大学：マテリアル研究の新展開「先端機器の共用とデータ利活用」

概要

マテリアル先端リサーチインフラ(ARIM)では、先端機器の共同利用とともに、共同利用で取得されたマテリアルデータの利活用の推進が重要なテーマとなります。このような新形態事業の基盤構築に関して、九州大学ハブの取り組みを報告するとともに、データ利活用に関わる関連事業の動向を紹介頂き、議論を深めます。また、先端電子顕微鏡フォーラムを運営する九州大学学術研究都市推進機構の取組を紹介します。

日時 2023年2月28日(金) 13：30～17：35

場所 九州大学 伊都ゲストハウス1階 会議室

内容

1. 研究会の主旨

村上 恭和 九州大学 超顕微解析研究センター長

2. 「データ創出・活用型磁性材料研究に向けて」

大久保 忠勝 国立研究開発法人物質・材料研究機構

3. 「ポリマーインフォマティクス・エコシステムによる高分子材料開発」

内藤 昌信 国立研究開発法人物質・材料研究機構

4. 「マテリアル先端リサーチインフラ事業におけるデータ基盤DX」

松波 成行 国立研究開発法人物質・材料研究機構

5. 「九州大学の装置共用とデータマネジメントポリシー」

藤ヶ谷 剛彦 九州大学 工学研究院 応用化学部門 教授

6. 「電子顕微鏡画像解析におけるAI技術の活用」

山本 知一 九州大学 超顕微解析研究センター 助教

7. 「層状物質×計算科学×データ科学」ARIM 情報部門

加藤 幸一郎 九州大学 工学研究院 応用化学部門 准教授

8. 「九州大学学術研究都市の紹介2023」
本田 一郎（公財）九州大学学術研究都市推進機構 産学連携主幹

対象者 どなたでもご参加いただけます。

定員 60名

参加費 無料

申込方法 当日受付

問い合わせ 九州大学マテリアル先端リサーチインフラ事業事務局 担当/松元
TEL/092-802-3489
E-mail/ nano_hvem@hvem.kyushu-u.ac.jp

・研究会チラシ：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30619_file.pdf

4 人社系協働研究・教育コモンズ オムニバスセッション
「知の形成史 #6」

概要

本シリーズでは、毎回人社系の先生をお呼びして、具体的な研究のお話をうかがいながら、いま一度それぞれの領域の「出来（いでき）はじめ」を紐解きつつ、現在の学問が時代や社会に何を要求されているのか、そして何ができるのかを考えます。人社系の知の意味と意義を問いなおすことを通じて、協働研究の「コモンズ」醸成を目指します。第六回目は法学研究院から、熊野直樹先生をお呼びして、麻薬をめぐる20世紀の世界の歴史についてお話をお伺いしていきます

日時 2023年2月28日（火）15：00～16:30

場所 九州大学伊都キャンパス E-C-203会議室及びオンライン会議形式（Zoom）

内容

麻薬とドイツ＝東アジア関係 満洲大豆からナチ阿片へー
http://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_17.html

対象者 一般・学生

定員 50名（対面）

参加費 無料

申込期限 2023年2月24日

申込方法

以下より事前申し込み
http://commons.kyushu-u.ac.jp/collaborative/events/event_17.html

問い合わせ

九州大学人社系協働研究・教育コモンズ <http://commons.kyushu-u.ac.jp/>
E-mail : enquiry-commons@cmns.kyushu-u.ac.jp

・オムニバスセッションチラシ：https://www.opack.jp/files/MagazineDetail_30620_file.pdf

* * * * *

事務局からのお願い&お知らせ

* * * * *

九大学研都市メールマガジン会員募集中

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）では、メールマガジン会員を随時募集しております。ダイナミックに変貌を遂げつつある九大学研都市エリアの最新情報をメールマガジンにて毎月お届けしています。産学連携、研究施設、企業立地など、九大学研都市に関する情報に関心のある方には是非お知らせください。

詳細

http://www.opack.jp/files/TopicDetail_45_file.pdf

新規のご登録はこちらから

<https://www.opack.jp/users/add>

設定変更等

本メールマガジンはメルマガ会員にご登録いただいた方や、OPACKの各セミナー等にご参加いただいた方あてに配信させていただいております。

メルマガ会員登録内容変更、登録解除、パスワード忘れ、などは下記URLをご参照ください。

<https://www.opack.jp/users/delete>

または、下記へお問い合わせください。

info@opack.jp

* * * * *